

明治大学大学院経営学研究科 (経営労務プログラム) 募集のご案内

平成20年度より、明治大学大学院経営学研究科に経営労務プログラムが開設され、連合会より、同プログラムに社会保険労務士を推薦することとしております。

同プログラムへの推薦により、これまでに107名の社労士が明治大学大学院に入学し、修了した方にはMBA(経営学修士)が授与されています。

つきましては、令和3年度入試におきましても、下記のとおり募集要項が定められましたので、ご案内いたします。

本年度は、新型コロナウイルスの影響により、今後日程等が変更となる可能性があります。その際は、会員の皆様に『月刊社労士』及び連合会ホームページの会員専用ページ等においてご案内いたします。

募集要項 (要約)

1. 明治大学大学院経営学研究科 (博士前期課程) 概要

- (1) 大学院所在地
東京都千代田区神田駿河台1-1
・JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 下車徒歩3分
・東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩5分
・都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 下車徒歩5分
- (2) 授業時間帯
平日夜間 (月曜日～金曜日)・土曜日
- (3) 修了要件
①2年以上の在学及び36単位以上の修得
②修士論文 (又は課題研究レポート) の提出
- (4) 学費等 (初年度)
入 学 金 200,000円
授 業 料 560,000円
教育充実料 60,000円
そ の 他 3,000円
合 計 823,000円
- (5) その他
①明治大学大学院の募集要項は、明治大学大学院HPからダウンロードしてください。
https://www.meiji.ac.jp/dai_in/bosyuyoko-kakomon/6t5h7p00001c3a52-att/2021keieiken-yoko.pdf
②入学検定料 35,000円

2. 応募要件

以下の3つの要件すべてを満たす場合、応募することができます。

- (1) 社会保険労務士として登録して3年を経過していること。
- (2) 3年以上の実務経験(※1)を有する者、またはそれと同等以上の経験(※2)を有する者であること。
(※1)「実務経験」とは、次のいずれかをいう。
① 開業社会保険労務士または社会保険労務士法人の社員として、顧問先事業所における人事労務管理の実務を行っているか、または行っていたことがあること。
② 社会保険労務士事務所または社会保険労務士法人の勤務社会保険労務士として顧問先事業所における人事労務管理の実務を担当しているか、または担当したことがあること。
③ 勤務社会保険労務士として、勤務先企業の人事労務管理の実務を担当しているか、または担当したことがあること。
(※2)「それと同等以上の経験」とは、所属の都道府県社会保険労務士会会長に自己の業務内容等を記載した職務経歴書を提出し、(※1)と同等以上と認められた場合をいう。
- (3) 明治大学大学院に入学する時点で、22歳以上であること。

3. 募集期間

令和2年7月21日(火)から令和2年9月16日(水)

4. 入試説明会

明治大学大学院経営学研究科（経営労務プログラム）は、下記の日程で入試説明会をZoom会議にて開催いたします。入学を検討中の方はもちろん、これから検討したいという方もご参加ください。当日Zoom会議に出席できなかった方は同日の録画配信を連合会ホームページにてご覧いただけるようにする予定です。

- (1) 日程
令和2年7月31日(金) 18時00分～
- (2) 参加申込方法
参加希望者は連合会ホームページより参加申込書をダウンロードいただき、メールにてお申込みください（連合会ホームページ→会員専用ページ→お知らせ「明治大学大学院経営学研究科（経営労務プログラム）募集及び入試説明会開催のご案内」）。
- (3) 説明会内容（予定）
 - ①明治大学大学院経営学研究科からの挨拶
 - ②全国社会保険労務士会連合会からの挨拶
 - ③経営学研究科マネジメントコース経営労務プログラム入試について
 - ④人事労務系職員の紹介と挨拶
 - ⑤教育補助講師の紹介と挨拶
 - ⑥公開講義の案内
 - ⑦経営労務プログラムで学んだ経験について
 - ⑧質疑応答・その他
 - ⑨お知らせ

5. 提出書類

- (1) 職務経歴書
 - ① 所定の様式を使用してください。
 - ② 所定の様式は、連合会ホームページの会員専用ページ お知らせ「明治大学大学院経営学研究科（経営労務プログラム）募集及び入試説明会開催のご案内」よりダウンロードできます。
なお、A4版でプリントアウトし、提出してください。
- (2) 課題レポート
テーマ 下記1および2のいずれかから1つを選択してください。
 1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、在宅勤務が広がるなか、テレワーク等が企業の労務管理に与える影響について、社会保険労務士の視点で、あなたの考えを述べてください。
 2. 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、労働者の解雇や有期労働契約者の雇止めが拡大しているなか、雇用を守るための企業の取り組みについて、社会保険労務士の視点で、あなたの考えを述べてください。
 - ①文字数 : 3,000字程度（2,700字～3,300字）
※句読点は文字数にカウントしてください。
※参考文献は必ず明記してください。なお、文末に参考文献を列記する場合、文字数のカウント外としてください（文末に文字数を明記してください）。
 - ②提出形式 : パソコンで作成し、A4版・縦方向、横書でプリントアウトし、提出してください。
 - ③その他 : レポートは、1行目に所属会及び氏名、2行目に選択したテーマ、その後1行あけて、4行目から本文を書き始めてください。

6. 書類提出先

所属の都道府県社会保険労務士会

7. 提出方法

- (1) 所属の都道府県社会保険労務士会に持参
各都道府県社会保険労務士会の業務時間内に持参してください。

- (2) 所属の都道府県社会保険労務士会に郵送
特定記録郵便もしくは簡易書留扱いで郵送してください。

令和2年9月16日(水)必着です。

※提出書類に不備があった場合は受け付けられません。

8. 連合会における推薦者の決定

- (1) 都道府県社会保険労務士会会長の推薦に基づき、連合会に設置された推薦委員会において、提出された課題レポートを審査のうえ決定されます。
- (2) 推薦に関する結果は、連合会から直接応募者に通知します。
- (3) 推薦者の決定に関する照会には応じられませんので、あらかじめご了承ください。

9. 出 願

- (1) 連合会において推薦が決定した場合、別途、明治大学大学院に出願していただくこととなります。
- (2) 明治大学大学院への出願期間は、令和2年11月30日(月)～令和2年12月4日(金)となります。

10. 明治大学大学院における合格者の決定

- (1) 出願者の書類選考・面接試問が明治大学大学院において行われます。
- (2) 面接試問日は令和3年2月20日(土)、合格者の決定日は令和3年2月23日(火)です。詳細は明治大学大学院経営学研究科の募集要項をご確認ください。
- (3) 合格に関する通知は、明治大学大学院から直接合格者に行われます。

お問い合わせ先 全国社会保険労務士会連合会 社会保険労務士総合研究機構 TEL 03-6225-4864

よくある質問 (FAQ)



Q 仕事が忙しいため、2年間で卒業単位を取得した上で、修士論文、課題レポートを書きあげる自信がありません。必ず2年間で修了しなければいけないのでしょうか。



A 必ずしも2年間で修了する必要はありません。最大で4年間在籍可能です。過去のケースでは、入学当初から3年計画で入学された方もいらっしゃいました。ご自身の状況に応じて柔軟な学び方が可能です。

また、大学院入学前に「科目等履修生制度」を利用して、入学後の負担を減らす方もいらっしゃいます。当該制度については下記をご確認ください。

<科目等履修生制度について>

大学院で開設されている特定の科目を履修し、一定の単位を修得することが可能です(学士の学位を有する方のみ)。また、本制度で修得した単位は、大学院入学後に「単位認定申請」することにより、大学院修了に必要な単位として認定されます。



Q 大学を卒業してからかなりの年数が経過しているため、講義についていけないのか不安です。大学院の授業を体感できる方法などはありませんか。



A 上記「科目等履修生制度」の他、例年9月下旬～10月上旬に開催される公開講座に参加することにより、大学院入学前に授業の雰囲気等を体感し、不安を払拭した上でチャレンジされる方もいらっしゃいます。詳細につきましては、明治大学大学院経営学研究科までお問合せください。



Q 大学在学時、卒論を書いた経験がない方、卒論を書いてから年数が経過している方、あるいは、卒論を書いた経験はあるが経営学とは遠い分野である方をサポートしていただける制度はありますか。



A 本プログラムでは、研究活動をサポートするための**教育補助講師**（次頁参照）が置かれ、自学・自習のための支援や論文執筆に関わる助言を行います。不安を払拭しながら研究に臨める体制が整えられています。

社労士院生の研究活動に対するサポート体制

—教育補助講師による研究支援体制—

【入試説明会における明治大学大学院経営学研究科資料より抜粋】

経営学研究科に入学した現役社労士は、2年間の研究活動を通じて修士論文または課題研究レポートをまとめて提出しなければなりません。実務志向の考え方を学術研究志向に転換させるのは、誰でも大変に辛いことです。経営労務プログラムは、修士論文を作成する過程において現役社労士が直面する困難を想定し社労士の研究活動をサポートするための教育補助講師体制を整えています。

1. 授業補助
2. 教材作成
3. 授業のフォローアップ

担当教員の指示に従って、授業のフォローアップを行います。このフォローアップとは、やむをえない事情で授業を欠席した院生に対し、教材を配布したり、授業の概要と要点について解説したり、また、必要な場合には、必読すべき文献を紹介します。

4. 学習への支援・指導

担当教員の指示に従って、院生個人の自学・自習に対する支援と指導を行います。この場合の“支援”とは、書誌の利用法、文献検索法、図書館活用法、研究に必要な文献収集、情報収集に関わるものを指しています。また、この場合の“指導”とは、修士論文執筆に必要な「執筆要領」に関わる助言、場合によっては、修士論文作成上の注意などを指しています。

＜ 科目等履修生制度・教育補助講師等に
関する問い合わせ先 ＞

明治大学大学院経営学研究科

東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL: 03-3296-4705

第6回公的年金制度及びその周辺知識に関する 研修(理論編)開催のご案内

社会保険労務士総合研究機構では、本年度も「公的年金制度及びその周辺知識に関する研修(理論編)」を開催いたします。詳しくは、本誌に同封している募集要項をご覧ください。

【日 時】 令和2年10月17日(土)、18日(日)、
11月7日(土)、8日(日)の計4日間

【会 場】 コンベンションルーム AP秋葉原(東京都台東区秋葉原1-1)

【受講料】 55,000円(税込、教材費含む)

【定 員】 50名(先着順)

【申込期間】 令和2年8月3日(月)10時～8月28日(金)17時



輪読形式の 大学院授業

遠藤 公嗣

(明治大学大学院経営学研究科教授)



経営学研究科の授業は1コマ100分ですが、講義科目とされていても、多くは演習形式で実施されます。演習形式も様々あると思いますが、私は課題書を輪読する形式をとっています。課題書としては、既存研究を踏まえて学術的に確実だが一般向けに執筆された書籍を、私が指定しています。こうした書籍は、実は、あまり多くありません。本年、春学期に私が指定した課題書の1つは、小熊英二『日本社会のしくみ』（2019年、講談社現代新書）です。

私は、昨年度までの対面授業では、下記のように実施しています。本年度春学期は、これを執筆しているのはZOOMによるオンライン授業期間中であって、必ずしも下記のとおりになっていません。

課題書の各章を各受講者に割り振ります。通常、1章が1回授業の範囲となります。受講者は、自分の担当章を輪読する授業日までに、担当章の要約を作成しコメントをつけます。要約は図示が望ましく、箇条書きは可と不可の中間で、文章での要約は不可です。文章での要約は、しばしば書き写しとなり、担当者が頭を使って理解することが不十分になるからです。

要約よりも重要なのは、コメントをつけることです。考え抜いて、なるべく長文コメントをつける必要があります。コメントをつけられない場合は「読みが浅い」「研究は未熟だ」と自覚すべきです。実際、修士1年生だと、十分につけられないことがあります。コメントのほか、関連事項や反対説などを追加し補充することはよいことです。このような準備に、担当者は徹夜に近い時間がかかることもあります。

以上が授業時の報告文となりますが、その全体でA4判4枚を標準の分量と考えてください。そのため、記述内容の取捨選択が必要で、それを考えることも必要です。以上の作業すべてが、実は、修士論文執筆の基礎となり、練習になります。修士論文執筆のためには、テーマに関連する先行研究を自分な

りに総括する必要がありますが、それに近いことをやっているからです。

担当者は、授業前に、デジタルでの報告文を他受講者へ配布します。授業当日は、他受講者がそれを印刷して持参します。印刷物へは書き込みが容易だからです。担当者は報告文を20～30分で口頭で説明します。他受講者も、予習として、課題書を読んで担当者と同様の作業をしておく必要があります。報告文を書かないだけが担当者との違いです。他受講者が予習をやっておくと、口頭説明の後に、他受講者は質問や意見を述べることができます。他受講者がこれをやっていないと、述べることは容易でなくなります。

口頭説明の後、他受講者は担当者に質問や感想を述べ、担当者はこれに答えます。受講者全員がランダムな席順に質問や感想を述べることを、私の授業では通例としています。ときには受講者同士の議論になることもあります。このプロセスによって、課題書の内容の理解と、それについての自分の見解が、受講者それぞれに明確となります。これは、院生による自己確認のプロセスでもあります。

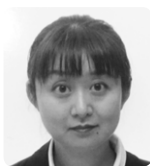
私は、上記プロセスが終わった後に、私のコメントを述べるだけが望ましいと思っています。その内容は、上記の議論についての、より広い視野ないし異なった視点からのコメントであったり、あるいは、議論に出てこなかった論点の指摘が望ましいでしょう。受講者は上記プロセスで自己確認ができていますので、それを上回る理解は何かを理解しやすいはずで、上回る理解を自己のものとすることが容易なはずで、もちろん、私がこうしたコメントをどれほど十分にできるかは、私の研究力や教育力に左右されるので、私もまた研鑽を積みなければなりません。

Profile 明治大学大学院経営学研究科教授。1950年生まれ。東京大学経済学部卒業。経済学博士（東京大学）。専門は雇用関係の全般。近年の論文は「同一価値労働同一賃金」原則の定義とそれに特有用な職務評価の手法：それらを「アメリカ製」となぜ呼べるのか、そして、それらは欧州諸国でなぜ普及しているのか？（『明治大学経営論集』67巻1・2・3合併号（2020年）、1-19頁。近著に、単著『これからの賃金』（旬報社、2014年）、編著『同一価値労働同一賃金をめざす職務評価』（旬報社、2013年）、共著『仕事と暮らしを取りもどす：社会正義のアメリカ』（岩波書店、2012年）、編著『個人加盟ユニオンと労働NPO』（ミネルヴァ書房、2012年）など。

大きな社会と、 自分自身を探究する旅

早川 佐知子

(明治大学経営学部公共経営学科専任講師)



社労士の皆様、初めまして。明治大学大学院にて、経営労務プログラムを担当しております、専任講師の早川佐知子と申します。社労士大学院生の方々と一緒に学ぶ機会を与えられ、若輩者の私は、指導を行う傍ら、最新の実務の動向や、長年のご経験から得た知見など、多くのことを院生たちから教えていただく日々です。

現在は社労士のための大学院もいくつかあるようですが、本学のプログラムの特徴を挙げるとすれば、最も学術的なアプローチを採っているという点でしょう。ケーススタディを中心に、実務の問題解決手法を習得するMBAでは、卒業レポートが課されることがほとんどだと思います。明治大学では、プロフェッショナルな社会人を対象としたコースではあっても、あくまで学術的な修士論文を完成させることを目標に据えています。

ビジネス書に流行り廃りがあるように、最新のテクニックを身につけて実践することを繰り返す営みには、おのずと限界があります。それよりもむしろ、社会や人間、そして経営の真理を、各自が徹底的に追求することで得られる、深みのある知性の方が、キャリアの後半ではずっと役に立つのではないのでしょうか。正直、華やかさはありません。ですが、真理を追求し、それぞれの哲学に厚みを加えてゆく姿勢は、修了後も終わることがなく、一つの生き方として、あなたを支えてくれるはずです。

修士論文を書くということは、それぞれが2年間じっくり取り組むことのできるテーマを探すことから始めます。意外に思われるかもしれませんが、論文を書くということは、あるテーマを追求することであると同時に、自分自身ととことん向き合うこととイコールなのです。それまでの人生で、どのようなことに関心を寄せてきたのか。何を大切に思っているのか。背景には、どのような人生経験があったのか。研究の中立性や客観性を保つことはもちろんですが、ご自身の人生と研究テーマとは、必ず深い

ところでつながっています。

2年間の執筆の過程でも、粘り強さ、視野の広さ、思考の柔軟さ、行動力、創造力など、日常の仕事とは少し違った角度から、これらのスキルが問われます。そこで新たな自分を発見することもあり、えも言われぬ嬉しさを覚えたり、落ち込んだり。研究は、勉強とは異なり、オリジナルの「知」を生み出す営みです。当然、ケーススタディをこなすことの何倍ものエネルギーが必要です。ですが、これができる地力を持った人は社会にも多くありません。「今日学んで明日収入になる」というスキルではありませんが、時間を重ねれば重ねるほど社会人としての豊かさを増し加えてくれる財産になります。

そう考えると、大学院で学ぶということは、自分自身を探究する旅のようなものですね。そして、これまでに出会ったことのない大きな社会と出会う旅でもあります。どんなに小さな現象でも、背後には実にさまざまな社会が広がっています。そのような未知の社会と出会えることも研究の大きな醍醐味です。また、これまでの歴史の中で、自分と同じようなことに疑問を持ち、社会を善くせんと力を尽くしてきた先人とも、資料の中で時空を超えた出会いをすることができます。過去に生きた、いわば人間の良心と思いがけない邂逅を果たした時、あなたの想いはきっと私が大切に引き継ぐね！と、この上もなく大きな励みになるのです。

山あり谷あり。でも旅仲間（先人のみならず、もちろん大学院の仲間も宝物）に助けられ、誰も見たことのない自分だけの絶景に出会うことができます。大学院生活は、かけがえのない旅のようなものです。ぜひ私たちとご一緒しませんか。

Profile 1977年山梨県生まれ。2013年、明治大学大学院経営学研究科博士後期課程修了（博士（経営学））。広島国際大学医療経営学部講師を経て、2019年より明治大学経営学部公共経営学科専任講師。専門は医療マネジメント、人事労務管理。著書に『アメリカの看護師と派遣労働—その歴史と特殊性—』（溪水社）。

大学院における 研究成果と社労士業務

川地 忍



私が経営労務プログラムへの応募を決意したきっかけは、勤務社労士として人事部に所属していた時に、人事制度改定プロジェクトに事務局として携わったことです。事業再生途中であったその会社では、ファンドと外部から招聘された経営人材が中心となって、さまざまな会社のしくみの見直しをしていました。人事制度の改定もその中のひとつでした。しかし、約1年かけて導入されたその制度はいわゆる大企業に見られるような精緻に作り込まれたものであり、地方の中堅企業にとっては逆機能的でした。従業員から「わかりづらい」「事務作業が負担」など多くの不満が人事部に寄せられ、私は「企業規模に合った人事制度のあり方」について深く考えるようになりました。その時に「自分は何も知らない」ということを痛感するとともに、単なるハウ・ツーではなく、もっと根本的な学術的な学びが必要であることを強く意識したのです。

福井県に生活の拠点がある私には、東京の大学院への通学が不可能であったため、実際に応募を決意するまでに、かなりの時間を要しました。しかし「同じような問題意識を持った人たちとの議論の場に参加したい」という想いは揺るがなかったため、家族に相談し、子供の大学進学タイミングで、東京での单身生活を決めました。

大学院に入学し最初に学んだことは、「大学院での目的は、リサーチ・クエスチョン（＝新しい知見を獲得するための研究課題）を見つけ、修士論文を執筆すること」であり、そのリサーチ・クエスチョンの設定がいかに難しいかということです。そして、その目的に対して一番の刺激となるのが演習方式の授業であるといえます。授業に臨むには、課題の資料を読んでおくだけでなく、それに対してのコメント（疑問点・自分の見解・関連する資料等）を用意しなければならず、毎回多くの準備が必要でした。仕事との兼ね合いの中でこうした時間を確保することは、社会人学生にとってキツイものです。しかし、

互いにコメントを発表し、それに対する質問に回答するという作業が繰り返し行われていく過程で、自分にはなかった視点や解釈についての多くの気づきが得られたように思います。

修士論文のテーマは、「中堅企業の事業再生の失敗研究」です。大学院に入学した秋に、勤務していた会社の事業再生が失敗し、私は戻るべき会社を失いました。なぜそうなったのか、その原因を明らかにしたいという想いと、「その稀な経験を事例研究とすることには価値がある」との教授からの助言を受け、このテーマを設定しました。失敗事例の実証分析は研究し難いため先行研究も多くはありません。内容は、ファンド・外部経営人材・事業会社というそれぞれの立場の方々からのインタビューを基に「中堅企業に特有の失敗要因」を分析するというものです。この論文では、特にファンドが関与した中堅企業の事業再生において、従業員の経営方針に対するコミットメントと、従業員側からの経営者の業務執行に対する監視というコーポレート・ガバナンスが必要であることを指摘しました。

論文の執筆をとおして、人事戦略を企業戦略の一部として理解するという「俯瞰でみること」の重要性を強く感じました。そして8万字という長い文章を論理的な破綻なく書き切ったという経験が、私にとってこの経営労務プログラムに挑戦して得た最大の収穫でした。

大学院を修了した現在思うことは、社会人学生としての学びの意義とは、研究成果と実務を関連づけながら、これから先も歩みをとめず研究を続けていく姿勢ではないかということです。私はまだまだ理解の及ばない「中堅企業のガバナンスとは何か？」という問いの答えを探しながら、社労士としてお客様の会社の経営方針や、従業員との関係性にも配慮し、会社の「その先」を見据えた提案ができるよう、心がけていきたいと思っています。

ご指導頂いた教授や教育補助講師の方々、先輩方、同期や受講生の仲間との出会いに、そしてこのような学びの機会を頂いたことに、深く感謝致します。

Profile 2013年11月 社会保険労務士登録
2018年4月 明治大学大学院経営学研究科入学
2020年3月 修了